

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-139	12-036	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)		
Relationships among alcohol consumption, facial flushing response, and metabolic syndrome in healthy men. 健康な男性におけるアルコール摂取および顔面紅潮反応とメタボリックシンドロームの関係		
執筆者		
Jung JG, Kim JS, Yoon SJ, Oh MK.		
掲載誌		
Ann Epidemiol. 2012 Jul;22(7):480-6.		
キーワード		
飲酒、紅潮反応、メタボリックシンドローム		
要旨		
目的： アルコールはメタボリックシンドロームと密接な関わりがあると信じられている。しかしながら、この関連において飲酒後の顔面紅潮の役割はまだよく分かっていない。そこでアルコール摂取およびメタボリックシンドロームのリスクと顔面紅潮の関連を調査した。		
方法： 対象者は総合的な健診を忠南大学病院にて受診した 1823 名の韓国人男性(非飲酒者:305 名、顔面紅潮者:540 名、非顔面紅潮者:978 名)で、高血圧の既往歴者、糖尿病の既往歴者、脂質異常症の既往歴者、一カ月以内に投薬治療を受けた者は除外されている。年齢、BMI、運動習慣、喫煙歴を調整後、ロジスティック回帰分析を用いて非飲酒者に対する飲酒による顔面紅潮者と非顔面紅潮者のメタボリックシンドロームのリスクを算出した。		
結果： 顔面紅潮者のメタボリックシンドロームのリスクは、アルコール摂取>56g/週で有意に上昇した(56-224g/週:オッズ比=1.93、>224g/週:2.20)。しかしながら、非顔面紅潮者では、メタボリックシンドロームのリスクは>224g/週で上昇した(オッズ比=2.02)。		
結論： 本結果はアルコール摂取によるメタボリックシンドロームの閾値は非顔面紅潮者より顔面紅潮者で低いことが示唆された。		